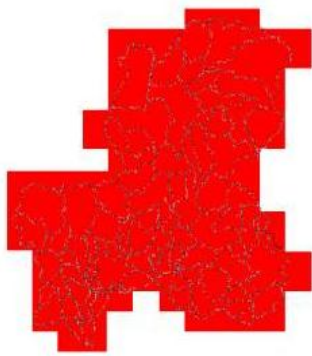


ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i> (Makino) Miyabe et Takeda	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省: 準絶滅危惧)		ボタン科
選定理由	かつては比較的広く分布していたが、近年生育地と個体数が激減した。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎は高さ30-50cm。葉は3-4枚が互生し、葉柄があり、下部の葉は葉身は2回3出複葉、上部の葉は3出複葉か単葉、両面とも無毛、下面は白色を帯びる。花は茎の先に1個つく。萼片普通3枚で緑色。花卉は5-7枚で白色、ときに薄く紅色を帯びることがある。雌蕊は2-4個、花柱は外側へ短く曲がる。雄蕊は多数。	
生態的特徴	落葉広葉樹林の下に生育する多年草。花期は5月。	
分布状況	日本固有で、関東以西の本州、四国、九州に分布する。岐阜県では県南の北部と県北に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊と森林伐採、及び山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と、採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		
		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責: 高橋弘